

# 政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

<教育文化分野>

---

**政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち**

**施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	51.5	49.9	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は49.9%で、平成31年度より1.6%ポイント減少していますが、後期基準値より6.2%ポイント増加しており、順調です。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 学校・家庭・地域が連携して協働教育に取り組んでおり、継続的な活動が広く認識されているものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの活動を実施できなかったことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成
- 基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり
- 基本事業 03 家庭教育力の向上
- 基本事業 04 青少年の健全育成

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10	
評価	<p>(状況) 令和2年度も10校で、市内小中学校全てにおいて事業を実施しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 子どもたちのより良い学びのために、学校・家庭・地域それぞれの強みを活かした継続的な取組をできていることが要因です。</p>								☀ (向上)	

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標②	学校支援事業件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	86	13	55	
評価	<p>(状況) 令和2年度は13件で、平成31年度より73件減少、後期基準値より23件減少しています。後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 例年、学校・家庭・地域が連携した幅広い活動を実施していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施したことが要因です。</p>								☔ (低下)	

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	8,267	3,397	7,800	
評価	<p>(状況) 令和2年度は3,397人で、平成31年度より4,870人、後期基準値より1,128人減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室の休止及び学校支援地域本部事業の規模縮小が主な要因です。</p>								☔ (低下)	

基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	48.5	45.9	→	
評価	<p>小学生の子どもを持つ保護者が対象</p> <p>(状況) 令和2年度は45.9%で、平成31年度より2.6ポイント減少していますが、後期基準値より6.5ポイント増加しており、順調です。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 放課後子ども教室の継続的な活動により、子ども達の安全な居場所として広く認識されていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止したことが要因と考えられます。</p>								☀ (向上)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標 ①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	86.1	—	➔	
評 価	全国学力・学習状況調査による指標です。								目 標 達 成 度	---
	(状況) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「全国学力・学習状況調査」が中止されたため、実績値が取得できていません。 (原因)								---	---

基本事業04 青少年の健全育成

指標 ①	青少年育成活動事業の延べ参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	3,813	526	3,430	
評 価									目 標 達 成 度	☂ (低下)
	(状況) 令和2年度は526人で、平成31年度の3,813人より3,287人、後期基準値より2,237人減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で放課後子ども教室等が中止となったことが主な要因です。								☒ (低)	



政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
①	教育活動状況調査の結果			%	88.7	92.3	89.7	→	☀ (向上)
	教育総務課								
評価	<p>(状況) 令和2年度は89.7%で、平成31年度より2.6ポイント減少しましたが、後期基準値よりも1.0ポイント増加しています。順調ですが、後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 学校に行きたいと思う児童の割合や勉強が楽しいと思う割合は学年が上がるほど低下する傾向があります。仲の良い友達がいる割合は各学年97%~99%で推移しており、仲の良い友達の存在が学校生活が楽しいと思う要因であると考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (高)
指標	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
②	教育活動状況調査の結果			%	72.7	81	82.9	→	☀ (向上)
	教育総務課								
評価	<p>(状況) 令和2年度は82.9%で、平成31年度より1.9ポイント、後期基準値よりも10.2ポイント増加しています。順調であり、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 勉強が楽しいと思う割合は75.8%であるものの、仲の良い友達がいる割合が93.8%と高水準となっており、仲の良い友達の存在が学校が楽しいと思う要因であると考えられます。</p>								目標 達成度  🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 郷土愛を育む教育の推進
- 基本事業 02 教育の質の向上
- 基本事業 03 健康づくりと食育の充実
- 基本事業 04 教育相談体制の充実
- 基本事業 05 安全・安心な教育環境の整備
- 基本事業 06 新たな時代に対応するための取組推進

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	時数/年	708	986	823	720	 目標達成度 
評価	(状況) 令和2年度は823時数/年で、平成31年度よりも163時数/年減少しましたが、後期基準値よりも115時数/年増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で小学校が臨時休業となり、授業数は減少しましたが、地域の人材や素材を活用しながら地域と連携した学習を積極的に取り入れ、推進したことが要因と考えられます。									

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	時数/年	136	196	83	150	 目標達成度 
評価	(状況) 令和2年度は83時数/年で、平成31年度より113時数/年、後期基準値よりも53時数/年減少しており、後期目標値は達成していません。 (原因) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による影響で中学校が臨時休業となり、授業数が減少したことが要因です。									

基本事業02 教育の質の向上

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	86.6	90.3	89.7	→	 目標達成度 
評価	教育活動状況調査の結果 (状況) 令和2年度は89.7%で、平成31年度より0.6%ポイント減少、後期基準値より3.1%ポイント増加しました。後期目標値は達成していませんが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 各学校において授業内容の充実に取り組んだことから、2年生93.9%、4年生85.9%、6年生89.4%と、全学年で高い水準で推移しています。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、授業時間の減少や学校行事の中止等、子どもたちの学校生活は大きく変化したことが要因と考えられます。									

基本事業02 教育の質の向上

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	66.8	80.7	83.6	→	 目標達成度 
評価	教育活動状況調査の結果 (状況) 令和2年度は83.6%で、平成31年度より2.9%ポイント、後期基準値より16.8%ポイント増加しており、後期目標値を達成しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、授業時間の減少や学校行事の中止など、子どもたちの学校生活は大きく変わったものの、各学校において授業内容の充実を図ると共に、落ち着いた学校生活を送ることができる環境の確保に努めたことが要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的な生活習慣を身につけている児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	86.1	87.1	—	→	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									---
	(状況) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全国学習状況調査が実施できなかったため、指標値は取得できていません。									目標達成度

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的な生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	83.4	81.7	—	→	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									---
	(状況) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全国学習状況調査が実施できなかったため、指標値は取得できていません。									目標達成度

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標③	学校給食残食率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	17.2	18.1	18.4	18	
評価	(状況) 令和2年度18.4%で、平成31年度より0.3ポイント、後期基準値より1.2ポイント増加しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、給食時間においても、喫食時の黙食やおかわり禁止等の新しいルールが必要となったことが要因と考えられます。									⊖ (横ばい)
										目標達成度

基本事業04 教育相談体制の充実

指標①	不登校出現率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	1.81	2.4	2	1.3	
評価	(状況) 令和2年度は2.0%で、平成31年度より0.4ポイント減少し、後期基準値より0.19ポイント増加しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 各学校におけるきめ細かな対応とスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーとの連携による取組により徐々に効果が認められています。しかし、不登校の要因は学校のみならず、家庭環境や人間関係など社会的要因が複雑に絡み合っており、不登校の未然防止については、校内支援体制の強化や関係機関との連携強化の必要性が高まっていることが要因と考えられます。									⊖ (横ばい)
										目標達成度



□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 教育相談体制の充実

指標②	再登校率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課						
評価	<p>(状況) 令和2年度は27.7%で、平成31年度より7.9ポイント増加、後期基準値より7.3ポイント減少しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携による取組などを積極的に行っていますが、不登校者が増加していることや、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合い、支援に時間を要していることが要因の1つと考えられます。</p>									<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課						
評価	<p>(状況) 令和2年度も0件で、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行った結果と考えられます。</p>									<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標②	学校施設の改修棟数 (累計)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課						
評価	<p>目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)</p> <p>(状況) 令和2年度は、多賀城小学校のエレベータ及び東豊中学校屋内体育館の2棟の改修を実施しました。累計10棟の改修が終了し、後期目標値を達成しています。 (原因) 教育環境の充実のため、必要となる改修を計画的に実施していることが要因です。</p>									<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課						
評価	<p>(状況) 令和2年度は12人で、平成31年度より5人増加、後期基準値より33人減少しています。 (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により情報共有等素早い対応を行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、授業時間の減少や、関係機関の協力で実施する交通安全教室等の開催ができず、児童・生徒に対する啓発活動を十分に行うことができなかったことが要因として考えられます。</p>									<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進

指標 ①	新たな時代への教育取組推進数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき	
		代替	業務取得	その他	件	6	9	9	8	
評 価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)									---
	<p>(状況) 令和2年度は9件で、平成31年度から同じ数値です。後期基準値より3件増加しています。</p> <p>(原因) 令和2年度は、平成31年度から引き続き、学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進事業、小学校理科支援事業、学習個別支援事業及び特別支援教育支援事業、心のケアハウス運営事業、志教育支援事業等の取組を継続して実施していることが要因です。</p>									目 標 達 成 度



政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に活かしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習を行っている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
	生涯学習課			%	-	65.2	57.5	→	☔ (低下)
	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	<p>(状況) 令和2年度は57.5%で、平成31年度より7.7%ポイント、平成27年度の64.5%より7%ポイント減少しています。後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で健康・スポーツや芸術(音楽や美術など)の活動を行う機会が減少したことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (低)

指標 ②	生涯学習の成果を地域や社会に活かしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
	生涯学習課			%	-	30.9	28.6	→	☁ (横ばい)
	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	<p>(状況) 令和2年度は28.6%で、平成31年度より2.3%ポイント、平成27年度の30.2%より1.6%ポイント減少しており、横ばいです。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による生涯学習の機会減少及び地域や社会のために生かす機会減少が要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学習機会の充実
基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進
基本事業 03 芸術文化の振興
基本事業 04 生涯学習施設の運営
基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標①	講座・教室メニュー数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	講座/年	77	307	175	90
評価	(状況) 令和2年度は175講座で、平成31年度より132講座減少しましたが、後期基準値より98講座増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成31年度との比較では新型コロナウイルス感染症の影響により講座等を中止したことで減少していますが、施設利用者の意見やアイデアを反映し、市立図書館において専門的知識を活用しながら利用者ニーズに合わせて積極的に講座を開催するなど、生涯学習機会を増やす取組を行ってきたことが要因と考えられます。								

基本事業01 学習機会の充実

指標②	生涯学習講座等の延べ受講者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	7,254	20,051	16,512	7,600
評価	(状況) 令和2年度は16,512人で、平成31年度より3,539人減少しましたが、後期基準値より9,258人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成31年度との比較では新型コロナウイルス感染症の影響による講座等の中止によって減少していますが、市立図書館での講座等の開催数の増加に伴い、参加者が大きく増加したことが要因と考えられます。								

基本事業01 学習機会の充実

指標③	学習機会が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	45.8	43.7	→
評価	(状況) 令和2年度は43.7%で、平成31年度より2.1ポイント減少していますが、平成27年度の43.7%と同数です。後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲で、横ばいです。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、自宅でのリモート学習やインターネット、スマートフォンの普及により学習手段の拡充が図られていることが維持できている要因の1つと考えられます。								

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標①	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	団体	184	205	192	200
評価	(状況) 令和2年度は192団体で、平成31年度より13団体減少していますが、後期基準値より8団体増加しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 毎年5～15団体ほどの新規登録があるものの、各種サークル参加者の高齢化等に伴う解散があり、緩やかな減少傾向が続いていることが要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,604	5,390	5,143	3,900	
評価	<p>(状況) 令和2年度は5,143人で、平成31年度より247人減少していますが、後期基準値より1,539人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 1団体当たりの構成員数が増加しており、サークル活動が活発化していることが要因と考えられます。</p>								<p>☀️ (向上)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

基本事業03 芸術文化の振興

指標①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	76,812	107,531	24,908	85,000	
評価	<p>(状況) 令和2年度は24,908人で平成31年度より82,623人、後期基準値より51,904人減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、休館期間があったことや多くのイベントが中止になったことが要因と考えられます。</p>								<p>☔️ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ (低)</p>	

基本事業03 芸術文化の振興

指標②	芸術文化鑑賞をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	54.2	26.7	➔	
評価	<p>平成27年度から取得を開始した指標です。 (状況) 令和2年度は26.7%で、平成31年度の54.2%より27.5ポイント、平成27年度の55.6%より28.9ポイント減少しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術文化鑑賞の機会が減少したことが要因と考えられます。</p>								<p>☔️ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ (低)</p>	

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	260,467	298,583	96,133	355,000	
評価	<p>(状況) 令和2年度は96,133人で、平成31年度より202,450人、後期基準値より164,334人減少しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館があったことや多くのイベントの中止があったことが主な要因です。</p>								<p>☔️ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ (低)</p>	



**政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち**

**施策 04 市民スポーツ社会の推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	38.9	35.4	→
評 価	<p>(状況) 令和2年度は35.4%で、平成31年度より3.5%ポイント減少し、後期基準値より1.1%ポイント減少しています。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり統計誤差の範囲です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ・運動を制限されたことが主な要因と考えられます。</p>								目標 達成度
					■ (高)				



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標①	スポーツ等の教室・大会数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	回/年	87	169	93	95	☀️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和2年度は93回で、平成31年度より76回減少し、後期基準値より6回増加していますが、後期目標値を達成していません。 (原因) 感染対策を講じながら教室等を開催しましたが、高齢者対象のスポーツ教室や規模の大きな大会等を中止したことが主な要因です。</p>								☀️ 目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標②	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	18.2	9.1	➔	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 令和2年度は9.1%で、平成31年度より9.1ポイント、平成27年度の16.4%より7.3ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により大規模なスポーツイベント等の中止又は人数制限等により、参加機会が減少したことが主な要因と考えられます。</p>								☔️ 目標達成度 ■■ (低)	

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標③	スポーツ普及団体の登録会員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,898	3,499	3,157	4,900	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 令和2年度は3,157人で、平成31年度より342人、後期基準値より741人減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員が減少しており、スポーツ団体に所属せず個人で活動する人が増えていることが要因と考えられます。</p>								☔️ 目標達成度 ■■ (低)	

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標①	スポーツ施設等の利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	322,238	296,806	165,124	350,000	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 令和2年度は165,124人で、平成31年度より131,682人、後期基準値より157,114人減少しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 都市公園の利用人数が減少傾向にあるほか、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設休館及び再開後の人数制限が要因と考えられます。</p>								☔️ 目標達成度 ■■ (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標 ②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき															
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	0	0	☀ (横ばい)														
評価	<p>(状況) 令和2年度は0件で、後期目標値を達成しています。                      (原因) スポーツ施設等の各種点検を定期的を実施しており、安全・安心な施設等の運営・管理に努めていることが要因です。</p>			<p>(件/年)</p> <table border="1"> <caption>実績値 (件/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (件/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>0</td></tr> <tr><td>R02</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (件/年)	H26	0	H27	0	H28	0	H29	2	H30	0	H31	0	R02	0	目標 達成度 🏠 (達成)
年度	実績値 (件/年)																							
H26	0																							
H27	0																							
H28	0																							
H29	2																							
H30	0																							
H31	0																							
R02	0																							



**政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち**

**施策 05 文化財の保護と活用**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	51.8	46.8	→
評 価	<p>(状況) 令和2年度は46.8%で、平成31年度より5ポイント減少し、後期基準値と同値で、横ばいです。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 日本遺産認定や多賀城南門復元への本格着手など歴史文化を感じる事柄が多くある一方で、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できなかったことが、大きな向上につながらない要因と考えられます。</p>							目標 達成度  ■■■ (高)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 文化財の調査・保存の推進
基本事業 02 文化財の積極的な活用促進
基本事業 03 文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	文化財保護法により適正に保護された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	188	231	—	
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数 (状況) 令和2年度は231件で、平成31年度より43件増加しており、後期基準値より56件増加しています。 (原因) 住宅建築や宅地造成などの需要に伴い増減します。平成27年度以降、周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数について、後期基準値と比較すると高い水準で推移しており、住宅需要を反映していることが要因と考えられます。								目標達成度 ---	

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標②	特別史跡の公有化率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	59.6	60.1	60	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和2年度は60.1%で、平成31年度より0.5ポイント、後期基準値より3.4ポイント増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。								目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標①	活用されている文化財の面積				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m <sup>2</sup>	287,842	307,308	311,752	303,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和2年度は311,752m <sup>2</sup> で、平成31年度より4,444m <sup>2</sup> 増加し、後期基準値より23,910m <sup>2</sup> 増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴い蕎麦及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度からの中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。								目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標②	市内所在の文化財訪問者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	135,009	57,914	140,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和2年度は57,914人で、平成31年度より77,095人減少し、後期基準値より74,117人減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多賀城跡あやめまつりが中止されたこと、市内文化財展示施設の利用が一部制限されたことなどが要因と考えられます。								目標達成度 🏠 (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ①	市内所在文化財の平均認知項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.34	7	→	☀ (横ばい)															
評価	<p>(状況) 令和2年度は7項目で、平成31年度より0.34項目減少していますが、後期基準値より1項目増加しており、横ばいです。後期目標値を達成していません。 (原因) 多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の認知度がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。</p>				<p>(項目)</p> <table border="1"> <caption>認知項目数の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>7</td></tr> <tr><td>H31</td><td>7.34</td></tr> <tr><td>R02</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	H26	6	H27	7	H28	7	H29	7	H30	7	H31	7.34	R02	7	☀ (横ばい)
	年度	実績値																							
H26	6																								
H27	7																								
H28	7																								
H29	7																								
H30	7																								
H31	7.34																								
R02	7																								
<p>目標達成度: ■■■ (高)</p>																									

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ②	市内所在文化財の平均訪問項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	5.61	5.26	→	☀ (横ばい)															
評価	<p>(状況) 令和2年度は5.26項目で、平成31年度より0.35項目減少したものの、後期基準値より1.06項目増加しており、横ばいです。後期目標値を達成していません。 (原因) 多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の訪問者数がなかなか伸びないこと、また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により来訪者が減少したことが大きな向上に繋がらない要因と考えられます。</p>				<p>(項目)</p> <table border="1"> <caption>平均訪問項目数の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>6.0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>5.61</td></tr> <tr><td>R02</td><td>5.26</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	H26	4.2	H27	5.5	H28	5.3	H29	5.4	H30	6.0	H31	5.61	R02	5.26	☀ (横ばい)
	年度	実績値																							
H26	4.2																								
H27	5.5																								
H28	5.3																								
H29	5.4																								
H30	6.0																								
H31	5.61																								
R02	5.26																								
<p>目標達成度: ■■■ (高)</p>																									

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ③	市内文化財への情報アクセス数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	295,845	137,008	120,000	☀ (向上)															
評価	<p>(状況) 令和2年度は137,008件で、平成31年度より158,837件減少していますが、後期基準値より21,008件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による来訪者の減少に伴い低下したものの、観光協会及び市ホームページなどで随時情報発信を行い、一定のアクセス数があることが要因と考えられます。</p>				<p>(件/年)</p> <table border="1"> <caption>情報アクセス数の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>116,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>110,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>140,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>190,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>190,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>295,845</td></tr> <tr><td>R02</td><td>137,008</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値	H26	116,000	H27	110,000	H28	140,000	H29	190,000	H30	190,000	H31	295,845	R02	137,008	☀ (向上)
	年度	実績値																							
H26	116,000																								
H27	110,000																								
H28	140,000																								
H29	190,000																								
H30	190,000																								
H31	295,845																								
R02	137,008																								
<p>目標達成度: ■■■ (達成)</p>																									

# 政策4

環境を大切にすることを育むまち

＜環境分野＞

---

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 01 環境との共生

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	市民、事業者、行政が地球環境に優しい取組を行い、市内の自然環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①	生活環境課			%	52	55.6	56	→	☀ (横ばい)
	主要6項目のうち4項目以上取り組んでいる方の割合								
評価	<p>(状況) 令和2年度は56%で、平成31年度より0.4%ポイント増加しており、横ばいです。後期目標値を達成していませんが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 主要項目のうち「ごみの減量・分別・適正処理・リサイクルを行っている」「マイバック、マイバスケットを持参し、不要な包装を断っている」の割合が70%超で、意識の醸成が図られていますが、「冷暖房の温度設定」や「エコ製品・省エネ製品の購入」については60%未満で意識の醸成が図られていないことが要因と考えられます。</p>							☀ 目標 達成度	
									☀ (高)
指標	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
②	生活環境課			%	77.7	79.7	81.9	→	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和2年度は81.9%で、平成31年度より2.2%ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲で、横ばいです。</p> <p>(原因) 都市化が進みながらも、史跡を含む里山的環境や水田などが多く存在していることが要因と考えられます。</p>							☀ 目標 達成度	
									☀ (達成)



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 環境教育の推進

基本事業 02 行政における環境保全の取組推進

基本事業01 環境教育の推進

指標 ①	市が開催した地球温暖化防止に向けた取組や環境事業の参加者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	人/年	231	4,837	1,567	1,715	
評価	<p>(状況) 令和2年度は1,567人で、平成31年度より3,270人減少し、後期基準値より1,336人増加しており、後期目標値は達成していません。</p> <p>(原因) 平成31年度は環境グループフェスを開催したことにより参加者が大幅に増加しています。令和2年度は、里山の生きもの調査隊の開催や、放課後児童クラブと連携した環境出前講座等を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催数が減少したことが要因と考えられます。</p>								太陽 (向上)  目標 達成度  ■■■ (高)	

基本事業02 行政における環境保全の取組推進

指標 ①	市役所及び出先機関の温室効果ガス排出量				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	t/年	2,240	2,319	1,910	2,235	
評価	<p>出先機関の新設、廃止の影響があります。</p> <p>(状況) 令和2年度は1,910tで、平成31年度より409t、後期基準値より330t減少し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 市民プールが修繕工事で長期間休館となったことにより、温室効果ガスの排出量が大幅に減少したことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会教育施設等が休館となったことにより温室効果ガスの排出量が減少したことが要因と考えられます。</p>								太陽 (向上)  目標 達成度  ■■■ (達成)	

**政策 04 環境を大切にすることを育むまち**

**施策 02 生活環境の保全**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	快適な生活環境が守られています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	快適な生活環境になっていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき																							
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	58.2	61.1	67.4	→	☀ (向上)																						
評 価	<p>(状況) 令和2年度は67.4%で、平成31年度より6.3ポイント、後期基準値より9.2ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) 騒音、犬猫の管理、ごみ集積所の管理等の改善についての要望が多く見受けられますが、出前講座、環境美化活動の実施や苦情対応を確実に実施することなどにより、マナーの改善や意識の向上が図られていることが要因と考えられます。</p>				<table border="1"> <caption>生活環境に関する指標の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>基準値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>58.2</td> <td>58.2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>61.1</td> <td>58.2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>60.0</td> <td>58.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60.0</td> <td>58.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>63.0</td> <td>58.2</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>60.0</td> <td>58.2</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>67.4</td> <td>58.2</td> </tr> </tbody> </table>			年度	実績値 (%)	基準値 (%)	H26	58.2	58.2	H27	61.1	58.2	H28	60.0	58.2	H29	60.0	58.2	H30	63.0	58.2	H31	60.0	58.2	R02	67.4	58.2	目標 達成度 👑 (達成)
年度	実績値 (%)	基準値 (%)																														
H26	58.2	58.2																														
H27	61.1	58.2																														
H28	60.0	58.2																														
H29	60.0	58.2																														
H30	63.0	58.2																														
H31	60.0	58.2																														
R02	67.4	58.2																														

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	生活公害等の抑制
基本事業 02	水質環境の向上
基本事業 03	空き地・空き家対策の推進

基本事業01 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件/年	115	67	101	91	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和2年度は101件で、平成31年度より34件増加し、後期基準値より14件減少しており、後期目標値を達成していません。苦情件数の内訳では、例年同様、空地や隣家の樹木・雑草繁茂に対する要望が65件と多数を占めています。 (原因) 土地管理者の意識の醸成が図られず、適正に土地が管理されていないことが要因と考えられます。									目標達成度
					■ (低)					

基本事業01 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件/年	36	24	33	23	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和2年度は33件で、平成31年度より9件増加し、後期基準値より3件減少しており、後期目標値を達成していません。苦情件数の内訳では、例年同様、空地や隣家の樹木・雑草繁茂に対するものが13件と多数を占めています。 (原因) 土地管理者の意識の醸成が図られず、適正に土地が管理されていないことが要因と考えられます。									目標達成度
					■ (低)					

基本事業02 水質環境の向上

指標①	河川の水質基準の達成割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	%	98.9	99	98.5	➡️	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和2年度は98.5%で、平成31年度より0.5%ポイント、後期基準値より0.4%ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 毎月、市と県で砂押川3か所と貞山運河1か所の4か所で4検体ずつ(年間192項目)調査しました。震災後は、津波により一時的に河川の水質が悪化したものの、時間の経過等に伴い水質悪化を招く要素が改善されたことが要因と考えられます。									目標達成度
					🏰 (達成)					

基本事業02 水質環境の向上

指標②	生活排水人口処理率(水洗化率) (浄化槽+公共下水道)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	98.4	98.9	98.9	98.5	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和2度は98.9%で、平成31年度と同数であるものの、後期基準値より0.5%ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市内の汚水管渠整備は概成しており、公共下水道への接続勧奨について、市ホームページなどで情報発信していることが、要因と考えられます。									目標達成度
					🏰 (達成)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 空き地・空き家対策の推進

指標 ①	適正に管理されていない空き家の件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件	—	—	—	
評 価	(状況)平成29年度に策定した「空家等対策計画」に基づき、空家等対策を推進しています。民間事業者と協働で空き家冊子を発行し、庁舎及び公共施設の窓口への設置、空き家所有者への送付等により、空き家の適正管理についての啓発を行っています。空き家の譲渡所得の特例措置に関する被相続人居住用家屋等確認書の発行は6件でした。								---
				目標 達成度	---				



**政策 04 環境を大切にすることを育むまち**

**施策 03 資源循環型社会の形成**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	ごみの減量と再資源化が進み、ごみ処理が適正に行われています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	市民1人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	kg/年	51	50	—	48	
評 価	東部衛生での最終処分量を基に算出した値									
	(状況) 宮城東部衛生処理組合での令和2年度の最終処分量は44kg でしたが、宮城東部衛生処理組合の基幹改良工事の期間中、仙台市 へ処分を一部依頼しており、当該仙台市処分分に係る最終処分量が 不明であるため、指標値は取得できていません。									(kg/年) 

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみ排出量の減量

基本事業 02 再資源化の推進

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課						
評価	<p>(状況) 令和2年度は194kgで、平成31年度より9kg増加したものの、後期基準値より5kg減少しており、後期目標値を達成しています。                      (原因) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が増えたことで可燃ごみの排出量が増加していますが、市民一人ひとりのごみの分別や減量に対する意識が醸成されてきたことが要因と考えられます。</p>								<p>☀️ (横ばい)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (達成)</p>	

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標②	事業系ごみの年間排出量				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課						
評価	<p>(状況) 令和2年度は5,709tで、平成31年度より350t、後期基準値より335t減少しており、順調に推移していますが、後期目標値を達成していません。                      (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による自粛要請で外出が制限され、排出量は減少していますが、事業所訪問等によるごみ減量指導回数が少なかったことが要因と考えられます。</p>								<p>☀️ (向上)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (低)</p>	

基本事業02 再資源化の推進

指標①	資源化量・資源回収量				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課						
評価	<p>資源物、民間リサイクル、資源回収連絡協議会、小型家電の回収量</p> <p>(状況) 令和2年度は5,616tで、平成31年度より70t増加したものの、後期基準値より793t減少しており、後期目標値を達成していません。                      (原因) 家庭や小売事業者での資源物回収量は横ばい状況にあり、個人売買等のリサイクルツールの多様化や製造事業者等の過剰包装の削減など資源回収以外の手法によるリサイクルが進んでいることが要因と考えられます。</p>								<p>☔️ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (低)</p>	

基本事業02 再資源化の推進

指標②	リサイクル率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課						
評価	<p>総資源化量／総排出量</p> <p>(状況) 令和2年度は23.1%で、平成31年度より0.4%ポイント増加したものの、後期基準値より2.3%ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。                      (原因) 新聞・雑誌等のペーパーレス化、過剰包装削減や容器包装の簡略化等による資源回収量の減少が要因と考えられます。</p>								<p>☔️ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (低)</p>	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 再資源化の推進

指標 ③	プラスチック容器包装不適合率（分別不適合率）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	%	14.9	15.7	12.7	14
評価	<p>(状況) 令和2年度は12.7%で、平成31年度より3ポイント、後期基準値より2.2ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) 環境出前講座やごみ減量指導員によるごみ集積所での立会い指導等により、分別等の適正排出を周知徹底したことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (達成)

基本事業02 再資源化の推進

指標 ④	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	76.7	77.2	75.7	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は75.7%で、平成31年度より1.5ポイント、後期基準値より1.0ポイント減少しています。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。                  (原因) 出前講座や広報多賀城等により分別・リサイクルの啓発を行ってきたことで、意識の醸成が図られてきたことや、民間事業者等によるリサイクルツールの普及が要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■■■ (高)